

みやけの風

第 213 号

平成 17 年 (2005 年) 3 月 5 日 (土) 発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

2005年3月1日、4年半にもわたる全島避難指示解除から一ヶ月が経ち、三宅島島民の方々の帰島も徐々にではありますが、本格帰島を果たしています。三宅島災害・東京ボランティア支援センターも島民の方の帰島に合わせ、2月1日から活動を始めて1ヶ月が経ちました。この1ヶ月間に活動したボランティアは148名、対応ニーズも100件を超えました。今後も7月まで、よろしくお願ひします。

みんなの声

癒しの三宅島に島民の声が響く！

桜の吹く3月を迎え、雪の舞う東京の街に感慨もひとしおの時を過ごしています。もうすぐ帰島できるという歡びにひたっています。

2月より自由に往来できるようになって、夫は一週間倉の滞在で、家の手入れや掃除に出張しています。島からの電話の声のはずみで、心のあり様が伝わります。

「ボランティアの人が7人もきて、庭がきれいになったぞー」「腹がへって飯がうまい！」

4年半という長い歳月には、展望が見えず息苦しいことも、多々ありました。マイナス

だけにしてはいけなないと試みました。知らない街や人との出会い、音楽鑑賞、バス旅行など、島で出来ない芸術にもふれました。

昨年末に頭部に脳腫瘍（良性）があることが発見されて、入院、摘出術も無事に済みました。都会の医療機関のおかげです。

体力を回復して、4月に帰島。みやけの風に吹かれて、強靱な心身をつちかって、人生の先達が築いた島人の暮らしを私なりに守っていきたいです。

どうぞ、よろしく。

(阿古 佐々木美代子)

三宅村商工会より

【確定申告相談会】

【三宅島】は、2月1日午後3時00分避難指示解除されましたが、税金に関する申告・納付期間について、国税局長官により告示されていませんので、税金に関する申告・納付期限は現在も延長されています。

しかし、避難先にて事業再開されている方はもとより、そうでない方でも、帰島後一定期間内に申告・納付が生じます。帰島する方、そうでない方も引越しの準備等で忙しい中での確定申告相談会となりますが、ご参加下さいますようお願いいたします。

尚、参加される方については、お手数をお掛け致しますが、3月10日(木)までに三宅村商工会(電話042-540-3363)に予約して下さい。

記

1. 開催日 平成17年 3月16日(水)・3月17日(木)

2. 開催時間 午前の部 午前10時00分～正午
 午後の部 午前 1時00分～午後 5時00分

【受付時間は午前・午後の部共に終了時間の30分前まで】

3. 開催会場 島嶼会館 第2会議室 (港区海岸1-4-7)

4. 内容 事業所得(個人)・年金所得・給与所得・医療費控除・還付申告の無料相談会

5. 対象者 商工会会員・青色申告会会員・会員外

6. 相談員 商工会職員・税理士(東京税理士会芝支部所属)

7. その他 会場には駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。

主催 三宅村商工会
 共催 (社)芝青色申告会 三宅島地区青色申告会

三宅島支援センターより

帰島支援事業報告

2005年3月1日、4年半にもわたる全島避難指示解除から一ヶ月が経ち、三宅島島民の方々の帰島も徐々にではありますが、本格帰島を果たしています。

三宅島災害・東京ボランティア支援センターも島民の方の帰島に合わせ、2月1日から活動を始めて1ヶ月が経ちました。

簡単ではありますが、活動開始から1ヶ月の「活動人員」「対応ニーズ」をお伝えします。

| | | | |
|-------|-------------------------|-------------|-----|
| 活動期間 | : 2005年2月2日～2月28日(27日間) | | |
| 活動人員 | : ボランティア活動参加者148名 | | |
| | ボランティア活動のべ活動人員 | 803名 | |
| 対応ニーズ | 113件 | 引越し時サポートニーズ | 16件 |
| | | 生活環境サポートニーズ | 97件 |
| | | 除灰作業ニーズ | 15件 |
| | | 萱・竹・草刈作業ニーズ | 22件 |
| | | 廃家財搬出作業ニーズ | 49件 |
| | | その他作業ニーズ | 11件 |

今回の帰島支援ボランティア事業は、数多くの団体・企業・個人の方々からのご支援・ご協力によって運営されています。

三宅島帰島ボランティア活動報告書

活動日 : 2月23日

報告者 : 大角正司 F班 : 武藤(母) 佐藤、小野寺、大澤、大角

< 活動内容 > 室内の片付け、カヤ刈り

昨日(22日)に続いての作業で、阿古の* *さん宅を訪問した。メンバーも昨日と同じなので、大した打ち合わせも必要無いまま、各自作業に取り掛かった。

9:15に到着し、台所片付け、居間片付け、風呂掃除、椿の剪定・カヤ刈りと始めた。

午前中には、かねてからの懸案事項であった自動車の片付けに業者が来て、入口付近でこちらを見ながら、レッカー車を入れるには藤棚が支障となるため、躊躇していたのを、大澤氏が気付き、我々とレッカー屋さんで動かない車を人力で道路まで押し出し、またひとつ問題が解決された。グッドタイミングであった。

午前中には、スコールのような雨が降り、表の作業班はずぶ濡れになったようだが、自分は風呂掃除で水を使っており、気がついたら濡れた佐藤さん、大澤氏の2名が部屋の中に戻っていた。

昼食は、昨日と同じく訪問先の方と食事をしながら、楽しい話をうかがった。

釣りが大好きな* *さんは、釣りをしていて、鳥を釣ってしまった話には大笑いしてしまった。

学名「かんむり海すずめ」というペンギンの様な鳥と、ウミウを釣ったとの事で、「かんむり海すずめ」は体長4～50cmで、なんと

か釣り上げたが、ウミウは羽を広げると結構な大きさで一人では上がらなかったとの事であった。

ちなみに、「かんむり海すずめ」は三宅では「ちんちくりん」と呼ぶそうである。

御蔵島は、人口200人程で、他の人を住民としては受け入れないとの話しや、いろいろ聞いているうちに昼食は一時間を超える優雅なものとなった。

午後は、室内組も一定の成果を終え、全員、表に出て、剪定とカヤ刈りに没頭した。

カヤも当初は何処から手を付けて良いか分からないような状況であったが、帰る頃には、敷地の横一線は切り開けたので、次回組みは横一列で効率良く刈る事が出来ると思われる。

午後2時頃には、昨日に引き続き、NHKが取材に訪れ、1時間以上あれやこれや質問していったとのことだった。

* *さんは、我々に非常に心のこもった、かつ控えめな言葉で「ありがたい」と言ってくださり、本当にやりがいを感じさせていただいた。

昨日、今日と続けての我々の訪問とNHKの取材で、* *さんはかなり疲労したようであった。

また、「誰か来ますから。」と告げ、15:40頃* *さん宅を後にした。